

# 第36回消防救助技術東海地区指導会 ほふく救出チームが全国大会出場

# 津消防タイムズ

第 19 号



煙道内に進入する堀隊員に誘導ロープを結索する若林隊員

発行 津市消防本部  
〒514-1101  
津市久居明神町 2276  
編集 消防総務課  
企画広報担当  
TEL 059-254-0353  
FAX 059-256-7755  
協力 津市防火協会

火災などの  
お問い合わせ  
224-1881  
救急医療情報案内  
256-1199

第三十六回消防救助技術東海地区指導会(全国消防協会東海地区支部主催)が、七月二十五日に鈴鹿市石薬師町の三重県消防学校において開催され、東海三県の七十四消防本部から選抜された救助の精鋭たち七百十三人が出場しました。

陸上の部では、高所に水平・垂直に展開されたロープを降下や登はんしたり、空気呼吸器を装着して、要救助者を救出するなどの救助七種目、水上の部では、救助のための基本泳法や水中での救助など七種目で救助技術を競いました。

津市消防本部からは十六名の隊員が五種目(陸上の部・ほふく救出、ロープブリッジ救出、障害突破及び水上の部・水中検査救助、複合検査)に出場しました。当日は梅雨明け間近の曇り空の中、救助隊員は日頃の訓練成果を存分に発揮していました。

その結果、当市消防本部のほふく救出チーム(白山署)が、三



左から 若林消防士、堀消防士、多川消防士長

部 岐阜県の海津市消防本部とともに同種目で全国大会に出場することになりました。

ほふく救出は、連携訓練の種目に属し、三人一組(要救助者を含む)で、一人の隊員が空気呼吸器を着装して、長さ八メートルの煙道内を検索し、ロープを使用して要救助者を屋外に救出した後、もう一名の隊員と協力して、安全な地点まで搬送します。これは、ビルや地下街の火災で煙に巻かれた人を救出するための訓練です。

なお、全国消防救助大会は、同年八月二十二日に、陸上の部は東京都内の東京消防庁夢の島消防訓練場で、水上の部は東京辰巳国際水泳場で盛大に開催されます。

重県杯で堂々の一位入賞(タイム四十・五秒)を果たし、愛知県豊田市の市消防本

(指導者:伊豆川高志消防司令) 出場隊員

(一)番員:堀佳史消防士・二番員:若林久史消防士・要救助者:多川敏一消防士長

白山署